

例 2

福祉施設と株式会社のコラボで、 在宅就業支援団体登録

在宅就業支援団体 株式会社研進（神奈川県平塚市）

株式会社研進に登録されている在宅就業障害者は、社会福祉法人進和学園が運営する多機能就労支援施設「しんわルネッサンス」をはじめ、「進和職業センター」「サンメッセしんわ」を利用して知的障害のある人達で、主に、本田技研工業株式会社（以下、ホンダ）から受注している自動車部品の組立加工作業を手掛けています。

研進の役割は、こうした一連の仕事の営業窓口となること。これによりクライアントとの契約締結や加工賃・運賃等の

交渉を行い、資金繰・在庫・物流等の取引に伴うリスクを担っています。「在宅就業契約」は、研進・在宅就業障害者・進和学園の三者で締結され、福祉サービス契約と両立するよう工夫し、利用者に工賃（報酬）を支払っています。

研進およびホンダの指導により、「福祉的就労」に企業的な運営手法を導入し、市場が求める「価格・品質・納期」を達成するための先進的な取り組みが為されています。様々なリスク負担を回避できる学園側では、品質の標準化や、正確性を重視した作業体制の構築に尽力してきました。二〇〇七年三月、「しんわルネッサンス」は、知的障害分野では日本初となる国際標準規格ISO9001も取得しています。

元々、一九七四年にホンダと進和学園が取引を開始する際、授産事業の推進管理を担う会社を創り、本田技研の「研」と進和学園の「進」を合わせて「研進」と命名されたのがスタートです。以来、ホンダ車部品の仕事を中心に、「働くよるこび」「役立つよるこび」を分かち合い、高い工賃水準を維持して来ました。

進和学園では、ホンダ車部品の仕事以外にも製パン・クッキー、陶芸、木工、有機肥料、植樹用の「苗」栽培等の自主

製品を生産していますが、これら作業に従事する方々の工賃水準の引き上げが課題とされています。

二〇〇七年、「就業の場」が主に自宅とされていた「在宅就業障害者支援制度」の規定が、一定の条件をクリアした授産施設等にも拡大されたことを機に、企業からの発注に対するインセンティブのアップや施設で働く人達の意欲向上に活かせるようにと、研進は「在宅就業障害者支援制度」の仕組みを取り入れました。これは神奈川県で登録第一号であると同時に、「福祉」と「企業」とが連携したケースです。

case

社会福祉法人進和学園しんわルネッサンス

クライアント（ホンダ）



進和学園で働く
メンバー約150人

登録

在宅就業支援団体
株式会社研進

発注



クライアント（ホンダ）から
研進に発注